

嘉麻市社協だより

えがお

No. 87

発行日 / 2013.5.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com



宮野小学校で
たくさんの思い出を作ろうね

桶渡公民館で、小学生の学習会

桶渡行政区地域福祉部では、

昨年の夏休みから、小学生の子どもたちが宿題を持ち寄り一緒に勉強する学習会を開催しています。

きっかけは、ラジオ体操を終えた子どもたちが、公民館からなかなか帰らないので、福祉推進員の大谷直美さんが「宿題持ってきたらどう？」と



声をかけたことだそう、公民館で勉強できるめったにない機会に子どもたちはとても喜んで公民館に集まったそうです。

実際に始めると、家で宿題をしていると、わからないことや聞きたいことが出てきて、なかなか進まなかったりするけれど、上級生に教えてもらったり、同級生と一緒に考えたりできると大好評だったそうです。実施できなかった冬休みには、「今回は、学習会ないんだね。」と子どもたちが残念そうに話していたと言います。

そこで、ぜひ春休みには実施しようと同福祉部の企画で、3月27日から3日間開催されました。今回は、地域福祉部の方だけで学習しているところを見守るのではなく、地域のボランティアの方にも協力してもらえないかとの申し出が本会にありました。嘉穂総合



高校大隈城山校にお願いしたところ、快諾いただき、生徒3名がボランティアとして参加することになりました。

高校生のお兄さんやお姉さんに最初は戸惑っていた子どもたちですが、次第に打ち解けて、わからない問題を質問したり、休憩中には、一緒に遊ぶ姿も見られました。

この学習会をきっかけに生まれた新たな出会いが今後も続いていくといいなと感じられるほどのたくさんの笑顔がそこにはありました。

支えあいの輪に ご参加ください



高齢や障がいをもった方などの日常生活のちょっとした困りごとを、協力会員として登録いただいた市民のみなさんの協力で解決し、お互い様の関係づくりを広げていくのが「地域支えあい事業」です。

これから夏にかけては、庭の草取りや庭木の剪定に関する相談が、秋から冬にかけては住居の掃除等に関する相談が多く寄せられます。この他、昼間家族が不在となった時の話し相手になってほしいという相談等もあります。

そこで、このような困りごとに対応できるよう、本事業の趣旨をご理解いただいて、協力会員として活動してくださる方を募集しています。活動は、都合のつく時間帯で構いません。また、資格なども必要ありませんので「できること」で支えあいの輪にご参加していただければ幸いです。



協力会員によるサービス実施中。
利用会員 A さん宅の掃除をしています。

活動を希望される方、関心のある方は左記事務局までご連絡ください。お待ちしております。

【お問い合わせ先】

嘉麻市社会福祉協議会 (☎0948-4210751)

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください!



☆最近えがおになった出来事について、5名の方にインタビューしました☆

3人で公園でよく遊んでいます。最近ではキャッチボールをすることが多く、うまくいった時、みんなで笑顔になりました。



手柴大希さん
足立琉聖さん 池田知利さん

最近引っ越しをして、アパート暮らしから一軒家に住むことに。インテリアが趣味なので好きに部屋のコーディネートができて嬉しいです。毎日笑顔で過ごしています。



田村友人さん

カトレアサークルに新しいメンバーが増え、より楽しいサークルになりました。出来上がった作品は、千歳会館に飾っていますが、「きれいなお花見たよ。」と声をかけていただき、思わず笑顔になりました。



岩井久子さん

ひきこもりの若者とどう向き合う?

～ひきこもり講演会～

下記のとおり、ひきこもりに関する講演会を開催します。ひきこもり支援の現場から、ひきこまざるを得ない若者の気持ちをお話いただきますので、ぜひご参加ください。

- 日時** 平成25年5月25日(土) 午前10時～正午
- 会場** 稲築住民センター2階会議室
- 内容** 「ひきこもりの若者とどう向き合う?」
～ひきこもり支援の現場から～
- 講師** 北九州市ひきこもり地域支援センター
“すてっぷ”センター長 田中美穂氏
- 参加対象** ひきこもり家族を持つ方、関心のある方
- 募集期間** 平成25年5月1日～5月22日まで
- 参加費** 無料
- お問い合わせ先** 嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751 FAX 0948-83-8005
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com



オリジナルの陶器を作りませんか?

～碓井千歳会館 陶芸教室参加者募集～

今年度も碓井千歳会館の焼物室を会場に、下記のとおり陶芸教室を開催します。オリジナル作品を作ることができますので、この機会に、ぜひ、陶芸の魅力に触れてみませんか。

- 日時** 平成25年6月23日(日) 午前10時～正午
平成25年7月7日(日) 午前10時～正午
- 内容** 1日目 希望する作品の形作り
(お皿や湯のみ、花器、マグカップなど)
2日目 素焼きした作品に釉薬で色づけ
- 参加対象** 陶芸に関心のある方
- 講師** 琴平陶芸サークル 藤嶋和明氏
- 会場** 碓井千歳会館焼物室
- 募集人員** 12名
- 募集期間** 平成25年5月1日～5月31日まで
8時30分～17時(但し、土日祝日は除きます)
- 参加費** 一人200円
- お問い合わせ先** 嘉麻市下臼井1050番地19
碓井千歳会館 ☎0948(62)3538
嘉麻市上山田502番地6
山田ふれあいハウス ☎0948(52)1847



「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

????? 問題 ?????

樋渡行政区地域福祉部が嘉穂総合高校大隈城山校のボランティアとともに春休みに取り組んだ小学生の子どもたちを対象とした活動は何だったのでしょうか?

- (1) 学習会
- (2) 上映会
- (3) お話し会

応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、5月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募下さい。

送付先 〒820-0205
嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え (3)

筑後市校区福祉会連絡協議会会長の仁田原鹿男氏を招いて開催したのは、見守り活動についての勉強会でした。応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

- ・今月もボランティア活動がとても目立ち、活発化して、助かりますよね。
- ・炭鉱の記憶は若かりし頃、私も炭鉱に住んでいたので、昔を思い出します。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

平成25年度事業計画及び収支予算が成立

平成25年度の事業計画及び収支予算が3月18日（月）の理事会での承認を得て、22日（金）の評議員会で議決されました。

今日の地域社会は、過疎化や少子高齢化の進行をはじめ、孤立死や自殺、引きこもりなどの社会的な孤立の問題、虐待やDVなど、多様な生活課題が広がっています。

そのため、今年度は、相談・支援体制の強化やアウトリーチ（地域に積極的に向かう）の徹底等を図って、様々な生活課題の解決につなげていきます。また、新たな事業として、市民の権利を擁護するための体制の整備に向けたスタートとして、市民後見人養成講座を開催します。

●地域福祉活動推進部門

1. 会員を増やしていくために
 - (1) 会員の募集及び拡充
2. 福祉情報を収集・発信するために
 - (1) 広報紙による情報発信
 - (2) 事業パンフレットによる情報発信
 - (3) ホームページの運用
3. いろいろな困りごとの相談に応じるために
 - (1) 法律相談事業
 - (2) 心配ごと相談事業
4. みんなの権利が擁護できるように
 - (1) 成年後見制度等に関する学習機会の提供
5. 低所得等の方々に資金を貸し付け、自立を支援するために
 - (1) 生活福祉資金貸付事業
6. 地域での生活を支援するために
 - (1) 地域支えあい事業
 - (2) 地域福祉権利擁護事業
7. 学びの場を提供するために
 - (1) 役員等研修事業
8. 地域の安全と環境保全につなげるために
 - (1) 空き家管理住まいるサービスの推進
9. 地域のつながりを育むために
 - (1) 地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業
 - (2) 地域福祉部の設置・活動支援事業
 - (3) ふれあい・いきいきサロンの設置・活動支援事業
10. 地域の福祉について考えるために
 - (1) 地域福祉推進委員会の開催
11. いざという時に備えるために
 - (1) 地域における要援護者の把握
 - (2) 福祉ベル・電動ブザー設置事業
12. 子育てを支援するために
 - (1) 子育て用品リユースセンターの運営
 - (2) おしゃべりサロンの開催
 - (3) チャイルドシート貸出事業
 - (4) 子育て情報紙の編集発行
 - (5) 児童遊具実態調査・遊具整備事業
13. 高齢者の方々を支援するために
 - (1) 紙おむつ宅配事業
 - (2) 福祉機器貸出事業
 - (3) 在宅介護者の集い
 - (4) 介護用品展示幹旋事業
14. 障がい児・者の方々を支援するために
 - (1) 障がい児日中一時支援事業



●法人運営部門

1. 各種助成金等による財源の確保
 2. 法令遵守と説明責任による透明性の確保
 3. 長期的な安定経営を可能とする職員構成の実現
 4. 法人運営に必要な承認・議決
 - (1) 会長・副会長会の開催
 - (2) 理事会の開催
 - (3) 評議員会の開催
 5. 法人運営及び経営のチェック
 - (1) 内部監査の実施
 - (2) 外部監査の実施満了
 6. 利用者等からの苦情解決と事業改善
 - (1) 福祉サービスの利用に関する第三者委員会の開催
 7. 法人の運営に必要な改選手続き
 - (1) 任期満了に伴う評議員の改選
 8. 規程等の制定及び改正
 9. 入札の実施
15. ボランティア活動や市民活動を広げていくために
 - (1) ボランティア・市民活動センターの運営
 - (2) 災害ボランティアセンター事業
 - (3) ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催
 - (4) ボランティアに関する学習機会の提供
 16. あらたな事業を企画・実施するために
 - (1) 買い物支援サービスに関する調査・研究
 - (2) 引きこもり家族への支援に関する調査・研究
 17. 共同募金運動に協力するために
 - (1) 街頭募金への協力
 - (2) 戸別募金への協力
 - (3) 職域募金への協力
 - (4) 法人募金への協力
 - (5) キャラクター募金箱設置先の開拓協力
 - (6) イベント募金での協力
 - (7) 赤い羽根自動販売機設置先の開拓協力
 18. その他の事業活動
 - (1) 各種団体等への助成事業
 - (2) ホームレス自立支援事業
 - (3) 弔電子郵便送付事業
 - (4) 初盆世帯供物配布事業
 - (5) アルミ缶リサイクル事業
 - (6) 葬祭場指定事業の実施
 - (7) バス待合所の管理
 - (8) ポストカードの販売
 - (9) 飲料水自動販売機の設置事業



●受託事業管理運営部門

1. 受託事業の推進

- (1) 配食サービス事業
- (2) 高齢者生きがい活動支援通所事業
- (3) 生活管理指導員派遣事業



●在宅福祉推進部門

1. 介護保険事業の推進

- (1) 居宅介護支援事業
(嘉麻北居宅介護支援事業所)
- (2) 訪問介護事業
(嘉麻北訪問介護事業所、嘉麻南訪問介護事業所)
- (3) 認知症対応型共同生活介護事業
(グループホームよかとこの家)



2. 障害者総合支援法にもとづく障がい福祉サービスの提供

- (1) 居宅介護事業
- (2) 重度訪問介護事業
- (3) 同行援護事業
- (4) 移動支援事業



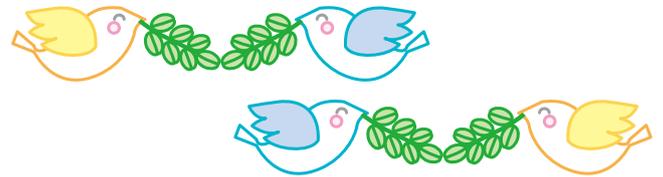
●福祉施設等管理・経営部門

1. 指定管理施設の管理・経営

- (1) 碓井千歳会館



- (2) 山田ふれあいハウス



平成25年度 一般会計収支予算

(単位：千円)

●経常活動による収支	
(収入)	
会費収入	1,820
寄附金収入	4,300
補助事業等収入	6,805
経常経費補助金収入	41,446
助成金収入	27
受託金収入	21,909
事業収入	24,560
共同募金配分金収入	4,506
介護保険収入	83,099
自立支援費等収入	9,602
雑収入	324
受取利息配当金収入	250
経理区分間繰入金収入	48,961
経常活動収入計	247,609
(支出)	
人件費支出	174,795
事務費支出	7,072
事業費支出	46,356
助成金支出	2,139
負担金支出	494
経理区分間繰入金支出	48,961
経常活動支出計	279,817
経常活動収支差額	▲ 32,208

●施設整備等による収支	
(収入)	
施設整備等収入計	0
(支出)	
施設整備等支出計	0
施設整備等収支差額	0

●財務活動による収支	
(収入)	0
その他の収入	
財務活動収入計	0
(支出)	
積立預金積立支出	175
その他の支出	4,137
財務活動支出計	4,312
財務活動収支差額	▲ 4,312

●予備費	2,494
●当期資金収支差額合計	▲ 39,014

●前期末支払資金残高	39,014
●当期末支払資金残高	0



活動への一步を応援します

ボランティア活動に関心はあっても、「自分にできるだろうか」といった不安や「どうやって始めて良いかわからない」といった気持ちで、なかなか一步を踏み出せずにいる方も多いようです。

そこで今回は、ボランティア活動のポイントをまとめましたので、ご紹介します。

●活動を始める前に知っておきたいボランティア4原則

1. 自分の意思で活動する（自主性・主体性）

誰かに強制されたり、義務として行うのではなく、自分の意思で、進んで行動することが大切です。

2. 支えあって、学び合う（社会性・連帯性）

自分や家族のためだけに行うのではなく、社会のために、個人で考え、そしてお互いに連携して、問題を解決していこうとすることが大切です。

3. 報酬を求めない（無償性）

ボランティア活動は金銭的な報酬を求めるものではありません。しかし、活動によって充実感を得たり、自分自身を見直すきっかけとなることもあります。

4. 自分の考えやアイデアを活かす（創造性・先駆性）

社会の中の問題点や必要とされていることを自分で考え、アイデアを活かして、自分たちの手で住みやすい社会を作っていこうとすることです。

●活動を始めるには・・・

ボランティア活動の分野は、福祉や医療、教育、環境保護、国際協力、まちづくり、災害支援など多岐にわたっており、かまボランティア・市民活動センターには、様々な分野で活動するボランティアグループや福祉施設等が登録されています。

自分にあった活動を見つけて、一步を踏み出すためにも、ぜひセンターをご利用ください。

＊ ボランティア 募集情報 ＊

運動会のサポート 福岡県立嘉穂特別支援学校

日 時 5月25日(土) 8時45分集合

12時30分終了予定

※13時30分から片付けを行いますので、お手伝いしていただけると助かります。

場 所 同校運動場

内 容 テント内での児童・生徒の見守りや、道具の出し入れの補助等

募集人数 5名程度

募集締切 5月13日(月)

備 考 ・当日は動きやすい服装でお願いします。
・昼食は主催者で準備します。
・雨天の場合は、延期となる可能性もあります。

レクリエーションのお手伝い

特別養護老人ホーム松寿園

日 時 月曜日～金曜日
(可能な時間帯で構いません。)

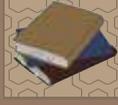
場 所 松寿園(嘉麻市漆生2338-1)

内 容 レクリエーションの補助、
行事のお手伝い、話し相手など

募集人数 2～3名

備 考 動きやすい服装、
室内履きをお持ちください。

＊お問い合わせ・お申し込み先＊
かまボランティア・市民活動センター
☎0948-42-0751



居場所を探して 累犯障害者たち

著者—長崎新聞社「累犯障害者問題取材班」

この本には、長崎新聞が2011年7月から2012年6月まで連載した「居場所を探して—累犯障害者たち」全7部62回と、累犯障害者の人たちに居場所をつくる「長崎モデル」と呼ばれる取り組みが収録されています。

この本を読むきっかけとなったのは、新聞の読書欄の居場所を探して…というタイトルが目に入ったことで、過去に、元衆議院議員の山本譲司さんが自身の服役中に、障がいのある方と寝食をともにした体験を綴った『獄窓記』(2003年12月)や『累犯障害者』(2005年5月)を読んでいたこともあって、すぐ書店に連絡をいれました。

本書に登場するのは「生きるために窃盗を繰り返して、人生の半分を刑務所で過ごした前科11犯の60代男性」「福祉とまったく無縁の中で、交通事故後の後遺症で無銭飲食を繰り返す30代男性」「出所するとすぐ無賃乗車や賽銭泥棒を繰り返す20代男性」など、全員何らかの障がいを抱えています。そこにあるのは、孤立と生活困窮、社会からの疎外感、追いつめられる家族、受け入れる福祉施設の少なさ、その結果として再犯に至るといふ負の連鎖で、福祉に携わる一人として、読み進むほどに身につまされてしまいました。

また、本書の後半では、累犯障害者を支援する「長崎モデル」と呼ばれる社会福祉法人愛隣会の取り組みや、変わろうとする刑事司法の様子が紹介されています。同法人田島理事長の「福祉が手を差し伸べていけば、累犯障害者の多くは刑務所に行かなくても良かった。彼らのような存在をつくってしまつた責任は福祉の側にもあると思う」との反省の上に立つて進められる様々な挑戦は、読む者を引きつけると同時に、社会福祉法人としてあるべき姿でもあるように感じます。

最も弱い立場におかれている累犯障害者の問題を、社会全体の問題として考えるためにも、福祉関係者だけではなく、多くのの方々に読んでいただきたい一冊です。

(渡辺)

炭鉱の記憶



No.74

このコーナーで呼びかけた笹原炭鉱につきまして、山本佐一郎さん、古賀照雄さんから、情報をお寄せいただきました。そこで、今回は、訂正も含めまして、お二人から伺つた笹原炭鉱について掲載いたします。

同炭鉱は、九州採炭KK株式会社の笹原炭業所として、本坑、二坑、三坑、五坑、七坑に分かれて採掘していました。それぞれの坑口までバッテリー電車をつなぎ、石炭を運搬していましたが、一番離れた三坑(現在の江星団地付近)だけは、トラックでのピストン輸送だったそうです。当時、トラック運転手の助手をされていた古賀さんから、トラック4台のうち、3台が木炭自動車であったことや、石炭を運ぶだけではなく、野球部の遠征や演芸役者の送迎にま

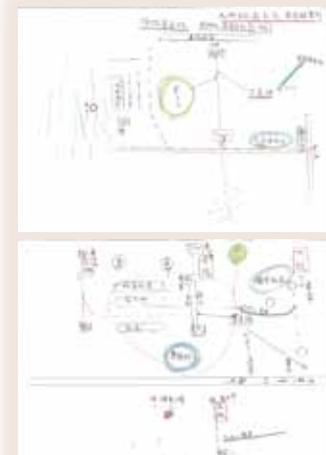
でトラックを使っていたという面白い話を伺いました。

また、山本さんからは、それぞれの坑口や坑道、ボタ山、事務所、映画館、診療所のあった場所や現在残っている貴重な建物を案内していただきました。写真上が、三坑の浴場近くにあった貯水槽で、写真下が、山本さん手書きの全体図です。

先月まで、全然わからなかった同炭鉱のことを、お二人からの貴重な情報のおかげで、みなさんにお伝えすることができました。本当にありがとうございます。今掲載しただけでなく、お二人からは、同炭鉱にまつわる様々なエピソードを伺っていますので、また、このコーナーでお伝えしたいと思います。



▲三坑の貯水槽



▲山本さん手書きの炭鉱全体図

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-421-0751)

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり評議員会、辞令交付式を開催しました。

第28回評議員会 《開催日》平成25年3月22日（金）

- 【議案第49号】平成24年度第2次補正予算について
- 【議案第50号】デイサービスよかこの家の事業休止について
- 【議案第51号】平成25年度事業計画及び収支予算について
- 【報告第10号】人事異動について

新規採用職員辞令交付式 平成25年4月1日（月）

4月1日付けで採用となった職員に、村上会長から辞令が交付されました。



新規採用職員紹介



新たなる出会いを大切に 川上 采織里

嘉麻市民のみなさま、初めまして。今春、筑紫女学園大学を卒業し、4月1日より嘉麻市社会福祉協議会の職員となりました川上采織里です。

私は旧稲築町で生まれ育ちました。豊かな自然と人の温かさに溢れたこの地に愛着があります。その嘉麻市のために働けることを誇りに思います。

大学では4年間ボランティアサークルに所属し、障がい児支援のお手伝いをしてきました。様々な児童と出会い、関わり、多くを学ぶことができました。支援において最も重要なものは、信頼関係です。お互いに信頼し合っているからこそ、任せるし、任せられるのだと思います。これは社会福祉全体に言えることであると思います。

私は市民のみなさまと信頼し合える関係を作っていくことを目標に努力していきます。初めて経験することも多く、戸惑うこともあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、どうか、嘉麻市民のみなさまのご指導、よろしくお願い致します。

指定葬祭場紹介

セレモニーホールおおつか

嘉麻市下山田9-1
☎(0948) 52-1212

我社の理念を紹介させていただきます。

セレモニーホールおおつか（有限会社大塚）は、和の精進の本質を見極める姿勢を大切に「応え」「創り」「挑み」続けることで社会に貢献します。

- ・世の中の変化を確かな視点で捉え、お客様と社会の期待と信頼に応えます。
- ・知識と技術（形）とサービス（心）を追求し、提供して、地域の貢献に努めます。

以上を掲げ、スタッフ一人一人がお客様の心に寄り添って、生きてきた証である最後のセレモニーに立ち合わせていただきたいと思います。

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8カ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館	☎ 62-5566	善光会館 稲築会場	☎ 83-5000
おかむら葬祭 岡村会館	☎ 42-4420	飛鳥会館 南斎場	☎ 42-4241
きど葬祭 やまさ碓井斎場	☎ 62-4499	ひさつね会館	☎ 52-0758
いすや会館	☎ 57-4444		

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

3月1日～3月31日受付分

●香典返し

【東岩崎】

親族 野見山 正道 様
故 野見山 春喜 様

【西岩崎】

親族 真次 タマエ 様
故 真次 忠文 様

【鴨生第一】

親族 中村 香保子 様
故 中村 申五 様

【下臼井東】

親族 松岡 孝子 様
故 松岡 茂利 様

【熊ヶ畑第二】

親族 室井 照美 様
故 室井 昌文 様

【木城】

親族 中川 尋章 様
故 中川 フサエ 様

【大橋】

親族 武田 幸稔 様
故 武田 幸子 様

【さくらが丘】

親族 鎮西 恵美子 様
故 鎮西 秀男 様

【山下】

親族 城戸 千恵 様
故 山崎 スエコ 様

親族 桑野 フミ子 様
故 桑野 文男 様

【石ヶ崎】

親族 藤原 弘子 様
故 藤原 シズエ 様

【大隈】

親族 武田 光一 様
故 武田 ハツノ 様

【下益】

親族 實藤 ともみ 様
故 實藤 ハルエ 様

【五日町】

親族 手嶋 ミヤ子 様
故 手嶋 百齡 様

【下牛隈】

親族 西村 文代 様
故 西村 敬浩 様

【泉河内】

親族 吉貝 武利 様
故 吉貝 登志子 様

【東畑】

親族 伊藤 チズ代 様
故 伊藤 フジコ 様

【東馬見】

親族 縄田 順一郎 様
故 縄田 サカエ 様

【椎木】

親族 瀧下 和子 様
故 瀧下 トモエ 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様
子育てリユース 様

漆生中央 大里よし子 様
口春 永富 明子 様

山野第一 山田 尚子 様

平第二

南ヶ丘団地 清水 愛味 様
ゆうひが丘 馬場万里亜 様
下牛隈 梶原 真理 様

桑野 江藤 千鶴 様

桂川町 岡本 千郷 様

飯塚市 横山 瑞枝 様

小野 総子 様

飯塚市 松熊 彩香 様

漆生本村 松熊 涼太 様

漆生南部 西岡 聖 様

漆生南部 市原登志彦 様

鴨生第一 花村 誠市 様

熊本 中島 政美 様

熊本 中嶋 久光 様

熊本 明石 睦則 様

下臼井東 古谷 富子 様

中央 明石 睦則 様

東馬見 古谷 富子 様

セレモノーホール がおつか 様

漆生中央 田中茶舗 様

漆生中央 浄照寺 様

山野第一 山崎マス美 様

鴨生第一 匿 名 様

辻中竈 匿 名 様

枝坂 志水 康子 様

枝坂 森 章枝 様

下臼井東 匿 名 様

尾浦第一 木下 松江 様

木城 栗原 伊織 様

木城 栗原 伊吹 様

木城 樋口えり子 様

大橋 長円寺仏教婦人会 様

古河 甲斐 良子 様

上西郷 有田 和也 様

下牛隈 多田 宏 様

たんぼぼクラブ 様

漆生本村 松熊 彩香 様

【古切手】

枝坂 志水 康子 様
熊ヶ畑第三 堀 尋子 様
下牛隈 多田 宏 様

嘉麻市税務課市民税係 様

嘉麻市福祉事務所保護課 様

（株）トモス 様

足白小学校 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々にご加入
いただきました。

（敬称を省略させていただきます）

3月1日～3月31日受付分

〈漆生本村〉 深川慶子（三口）

〈鴨生第一〉 山崎マス美

〈漆生老松〉 木山淳一（二口）

〈銭代坊〉 銭代坊行政区（五十口）

〈鴨生北町〉 中須サカエ、梅永昭江、
梅木歳子、鴨生鍼灸整骨院（三口）

〈熊ヶ畑第二〉 江藤久人、大里ミツエ、
広瀬スズエ、財津吉美、友田雅則、
大里初男、大里速、大里恵、大里
優子、大里梶栄、大里喜久雄、大
里京子

〈尾浦第二〉 酒井リツ子、松本由美子

〈木城〉 大里英雄

〈大橋〉 深町紀子

〈中央〉 渡辺進、渡辺智子

〈蛭子〉 大久保昌之

〈中山田上〉 吉塚仁（三口）

〈千手〉 山本陽子

〈飯塚市〉 木原靖世（二口）

嘉麻市稲築地区民生委員児童委員
協議会（二十口）

6月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

嘉麻市社会福祉協議会
☎ 0948-42-0751

法律相談

☎と き：6月6日（木）
13：00～15：00

☎ところ：山田ふれあいハウス

☎と き：6月20日（木）
13：00～15：00

☎ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

☎と き：6月12日（水）
13：00～16：00

☎ところ：稲築住民センター

☎と き：6月26日（水）
13：00～16：00

☎ところ：稲築住民センター

麗しき薫り漂う我が故郷

黒田節の主人公なる「母里太兵衛友信」の益富城のある町が嘉麻市、



東京都足立区在住 江藤 茂典 さん (62歳) 桑野出身

我が故郷である。城郭など残っていないが、豊臣秀吉が島津討伐時に「二夜城」を築いた所でもある。嘉麻峠から小石原への峠に向かい、坂道が続く国道211号線沿道の桑野で生まれ育った。夏は青々とし、冬は真白き馬見山の頂きを仰ぎ、周りに棚田が広がる景色の中で、高校を卒業するまで過ごした。数少ない車が舗装されていない砂利道を行き交い、隣近所のいたずらつ子と一緒に通う我々に、砂煙をかけながら通り過ぎていく長閑な田園風景だった。田植えの準備に苗を揃える苗田で泥まみれになって遊び、親達によく叱られた幼き時代を懐かしく思う。近くに川泳ぎできる所もあり、夏休みに川泳ぎを忘れ、暗くなるまで遊び明かした。おかげで身体は日焼けで真っ黒。学校の野外活動も茶摘み、田植えなどの自然に触れる授業もあり、お受験時代の現在では想像もできないのんびりした時を過ごした。

高校へは百谷峠を越えて、雨や雪の日もバイクで通学した。とくに積雪や氷点下で凍結した日の峠越えは大変で、転倒の恐れに冷や汗をかきながら通った事を思い出す。爽やかな風を受け心地よく走り抜けた光景より、悪天候の中を悪戦苦闘した辛かった出来事を多く思い出す。おかげで何事にも辛抱できる心身を手に入れることが出来た。全てが故郷から頂いた贈り物である。兼業農家は営みながらの厳しい経済状況だったが、束縛のない気ままな青春時代を送り大学も卒業できた。今は亡き両親と兄弟への恩義は忘れられない。「筑紫路の山のまあい展げたる美しこの郷」で始まる我が母校、宮野小学校校歌の「麗しき郷で逞しき力や麗しき心を享けて幸を拓かん」は、今にして思う故郷を言い得て妙である。経済や企業情報などを扱う情報産業に関わりたくて、日本経済新聞社東京本社に就職した。それから東京での生活が40年近く続いている。30歳代には欧米やアジアの各諸国を飛び回った。その後も「今日の新聞」や「昔の新聞記事」がパソコンで読める仕組み作り携わり、とにかく目の回る忙しさで走り続けてきた。挫けそうになり心身ともに疲れた時、我が背中を押し、支えてくれたのが故郷だった。「忙中閑あり」で帰省した折には、幼友達が集まった同窓会で楽しく語らったこと、暖かく迎えてくれる家族や幼き時を過ごした光景に触れることで、何度勇気を奮立たされたか、元気を貰ったことか。過疎化が進む故郷は寂しいが、麗しき故郷の思い出は心に強く刻まれ、今でも鮮明に蘇る。「ふるさとと遠きにありて思うもの...」との気持ちを持ち続けられたのも、暖かく支えてくれた故郷のおかげだと思ふ。お世話になった皆様には心より感謝したい。

★編集後記★



炭鉱の記憶を取材すると、いつも命がけだった炭鉱マンの姿が浮かびます。今回は、笹原炭鉱の跡地を案内していただき、静寂の中にもその歴史の息吹を感じました。これからも、当時を知る方にいろいろと教えていただきながら、このコーナーを続けていければと思っておりますので、ご協力お願いします。(きはら)



広報紙を作るなかで、たくさんの新しい出会いがあることをいつも嬉しく感じています。今回の「今月のえがお」の取材でも、いろんな場所でみなさんに出会い、ご協力していただきました。ありがとうございます。(みそくち)



今号から広報紙づくりに携わっています。どうぞよろしくお願いいたします。今回は、ボランティアの4原則を紹介しました。きっかけは様々であっても「やってみよう」という気持ちが大切なのだと改めて感じました。(たけがわ)



“社協だよりクイズ”に応募してくださる方がいます。クイズの答えと一緒に、広報紙の感想をたくさん書いてくれる方もおり、とてもありがたいですね。いつも広報紙をすみずみまで読んでいただき、ありがとうございます★!(なかしま)

編集後記を書いている本会職員の似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

コラム 文差点

「俳句の出前授業」

旧嘉穂町の小学校の子ども達と一緒に俳句を作り始めてかれこれ十年が過ぎた。これまで伺った小学校は宮野小学校、千手小学校、大隈小学校、泉河内小学校そして今年は熊ヶ畑小学校にもお招きいただいた。これを勝手に「俳句の出前授業」と称している。そもそも子ども達と俳句を作るようになったきっかけは、十数年前の千手小学校の子ども達との出会いであった。私のように俳句を作る者にとつては実に嬉しい自然環境で、「こんなに素晴らしい自然に囲まれ、千手小の子ども達は

なんて幸せなんだろ」と思いつつ日々子ども達と接するうちに、子ども達にとつては、この恵まれた自然は毎日吸う空気と同じで(空気もとびつきり美味しいのだが)取り立てて感動を呼ぶものではないことに気付いた。「これは勿体ない」と校長先生にお話すると、「では、俳句クラブを作ったら」と言ってみて下さった。それから野山や川に遊びに出かければ句を作り、蓬を摘んできて蓬団子を作ったりは俳句により、白玉団子を作ったり井戸水で冷やしなごう句を作ったりと、千手の自然を満喫しながら、子ども達はどんな俳句を作るようになった。

井戸水は白玉だんごのけしゅう花先生のポケットにさすねじり花学校在遠くに見える夏の川 毛虫さん道路横断いそげいそげ

こんな句をすらすらと作るのだから驚く。それ以来子ども達との俳句作りがやみつきになり現在に至っている。現在、「飯塚少年少女俳句大会」では宮野小学校や大隈小学校の子ども達の名前が特選入選の欄にすらりと並ぶ。今年を最後に五校が統合されるが、この子ども達が大人になった時、自分の作った句を口ずさむ度に母校のことや故郷の素晴らしさを思い出してくれたらいいなと願いつつ、今後も子ども達と記憶に残る俳句作りを楽しみたい。(西郷 尾篋 宏子)